

## ◆ 期末更新処理（再更新）の操作手順

（画面例『PCA 会計シリーズ バージョンDX（システムB）』使用）

- 「期末更新処理（新規更新）」を実行した後、前年度の仕訳データが変更された場合に実行します。決算が確定するまでに2ヶ月ほどありますので、前年度の残高を新年度へ反映させる場合は、「期末更新処理（再更新）」を実行してください。  
なお、再更新は何度でも実行することができます。

### 【操作手順】

- ① 作業中のトラブルに備え、「ファイル」－「データ領域の一括バックアップ」にて前年度・新年度のバックアップを実行します。  
例：ピー・シー・エー(株) 第7期、第8期のバックアップをCドライブの「会計バックアップ」フォルダに保存します。

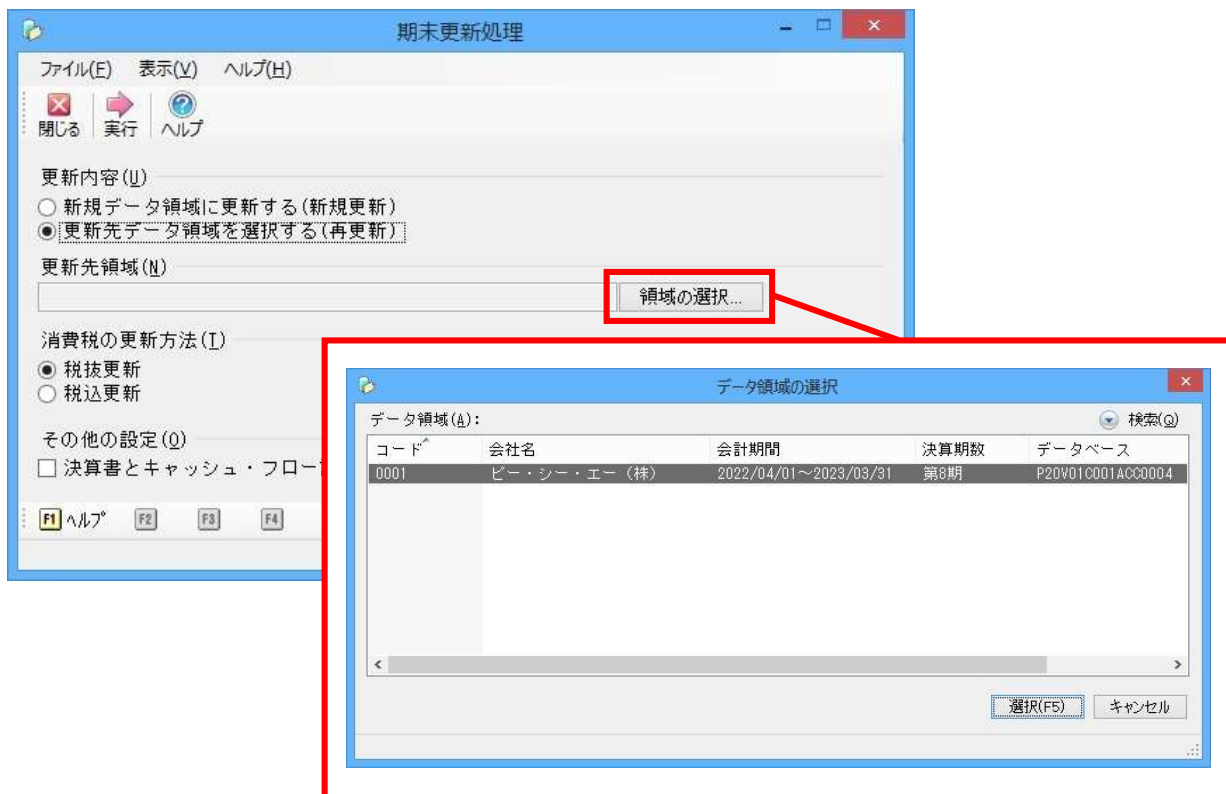


- ② 「ファイル」－「データ領域の選択」を選び、前年度を選択して[選択]を押します。  
例：ピー・シー・エー(株) 第7期を選択します。

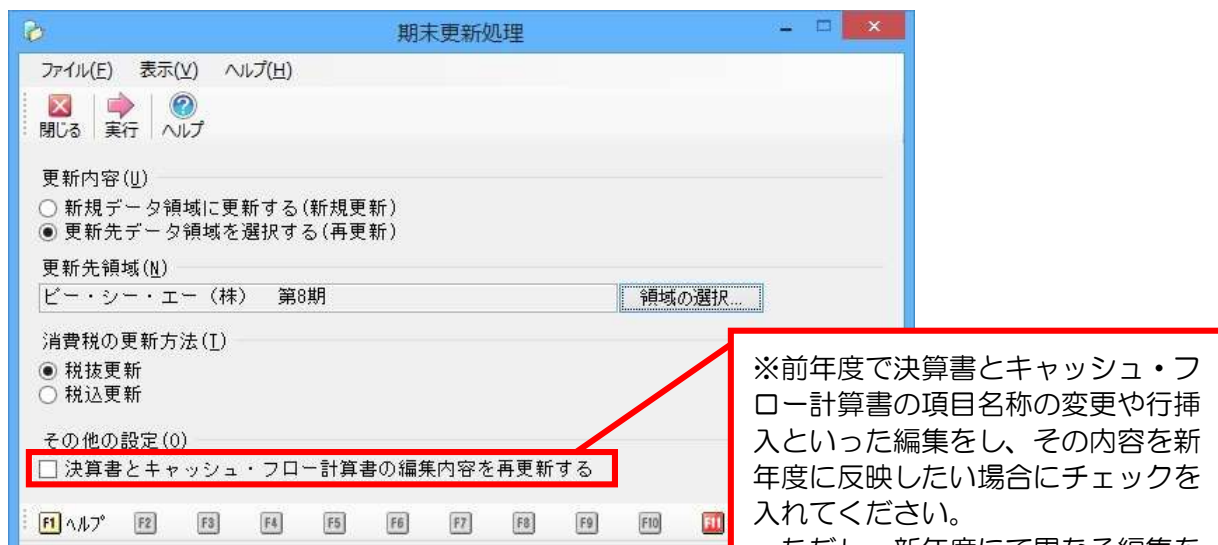


- ③ 「ファイル」－「期末更新処理」を選び、[更新先データ領域を選択する(再更新)] を選択し、[領域の選択] をクリックします。

選択画面で新年度を選択し [OK] をクリックします。



- ④ 更新先領域が新年度になっていることを確認し [実行] します。



※ [税抜更新] [税込更新] は、会社の経理方法に合わせて選択してください。  
 一つの目安として、決算整理仕訳に仮受消費税等、仮払消費税等の相殺仕訳を入力し、税抜の決算書を作成している場合は [税抜更新] を選択します。  
 免税事業者などで仕訳を税込で処理している場合は、[税込更新] となります。

※前年度で決算書とキャッシュ・フロー計算書の項目名称の変更や行挿入といった編集をし、その内容を新年度に反映したい場合にチェックを入れてください。  
 ただし、新年度にて異なる編集を行っている場合は、前年度の編集内容が上書きされてしまいますので、ご注意ください。

- ⑤ 更新元と更新先に間違いがないか確認し、[OK] をクリックします。

期末更新処理

更新内容	再更新 (税抜管理)
更新元情報	P20V01C001ACC0003 0001 ピー・シー・エー (株) 第7期 会計期間 2021年 4月 1日 ~ 2022年 3月31日
更新先情報	P20V01C001ACC0004 0001 ピー・シー・エー (株) 第8期 会計期間 2022年 4月 1日 ~ 2023年 3月31日

上記の内容で更新します。よろしいですか？

OK(F5) キャンセル

- ⑤ 完了したら [OK] をクリックします。

期末更新処理

期末更新処理が完了しました。

更新先領域	P20V01C001ACC0004
会社コード	0001
会社名	ピー・シー・エー(株)
会計期間	2022年 4月 1日 ~ 2023年 3月31日

OK

- ⑥ 「ファイル」－「データ領域の選択」を選び、新年度を選択します。  
例：ピー・シー・エー(株) 第8期を選択します。

データ領域の選択

データ領域(A):

コード	会社名	会計期間	決算期数
0001	ピー・シー・エー (株)	2022/04/01~2023/03/31	第8期

検索(Q)

選択(F5) キャンセル

新年度に切り替え、「前準備」－「期首残高の登録」等で残高の確認をしてください。  
以上で処理は完了です。